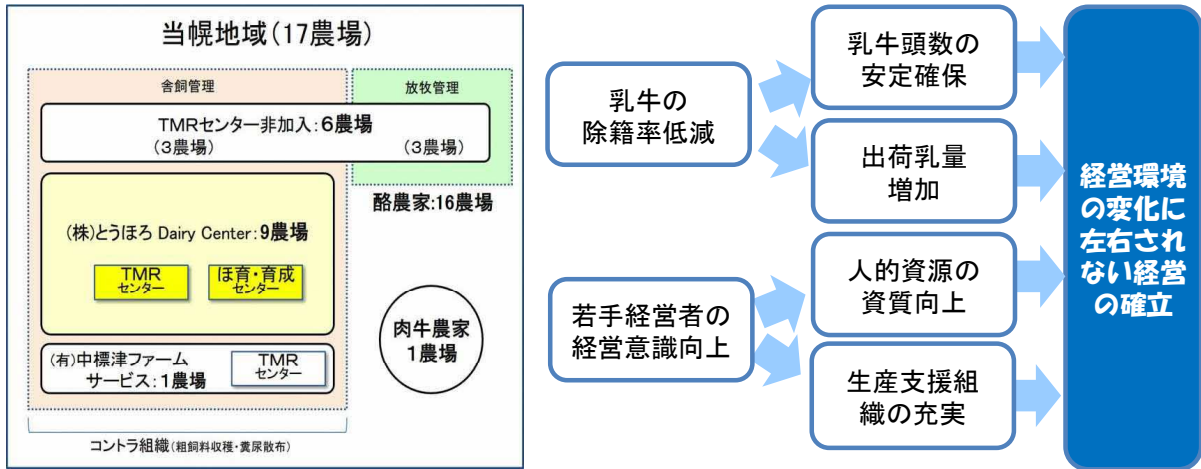


健康な牛づくりで健全な酪農経営

(中標津町当幌地域)

1 課題の背景



2 活動の経過

疾病低減による生産性向上

- (1) 飼養環境の改善
- (2) 管理作業の改善
- (3) 良質粗飼料の確保
- (4) 飼料内容の改善

聞き取り結果
個々の農場で
「取り組みたいこと」を中心に実践

若手経営者中心とした担い手の育成


- (1) 乳牛飼養管理の研修・実践
- (2) 良質粗飼料確保に向けた研修・実践
- (3) 営農・投資計画の実践

3 活動の成果

| 具体的推進事項 | 目標事項 | 目標 | 実績 | 到達度 |
|-------------------|-------------|-----|-----|------|
| 疾病低減による生産性向上 | 疾病低減新規取組農家数 | 11戸 | 11戸 | 100% |
| 若手経営者を中心とした担い手の育成 | 乳牛飼養管理の改善 | 6人 | 6人 | 100% |

(1) 疾病低減による生産性向上

| 取り組み内容 | 除籍率低減対策の効果 |
|--|---|
| <p>F農場</p> <p>乾乳牛の過密解消 肢蹄病対策実施</p> | <p>除籍率 31%(H27年)→23%(R1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩直前の乾乳後期管理を確実に21日間確保することで周産期疾病が減少し泌乳初期の乳量が112%(H27年比)に増加 ・蹄病対策実施により除籍頭数が減少し頭数が順調に増加。出荷乳量141%を達成(H27年比) |
| <p>K農場</p> <p>転倒事故防止のため牛床・通路マットの導入</p> | <p>除籍率 16%(H27年)→16%(R1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TMRセンター構成員以外にも疾病対策が波及。放牧地への牛の出し入れの際に発生していた転倒事故が激減。「凸凹やツルツルが解消され、掃除も楽になった」と絶賛。除籍率を増やさずに搾乳牛頭数104%、出荷乳量108%を達成(H27年比) |

| 取り組み内容 | 除籍率低減のための良質粗飼料生産 |
|--|---|
| <p>TMRセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・は種速度の適正化 (5~6km/時) ・除草効果の向上 (水量増加、薬剤変更) ・多雨への施肥対応 <p>ほ場部でほう芽状況を確認</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されにくい良質なサイレージ用とうもろこしの安定栽培を実践 <ul style="list-style-type: none"> → 欠株率削減(12%→5%)、倒伏なし → 雑草割合の減少によるサイレージ品質向上 ・10a当たり収量の増加→113%(平年比) ・次世代による自主的なほ場管理(計画→実行→記録・評価→計画作成)へ引き継ぎ |

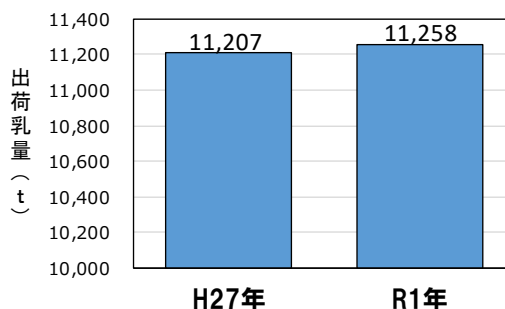
(2) 若手経営者を中心とした担い手の育成

| 取り組み内容 | 効果 |
|--|--|
| <p>B、F、M農場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働前に細かい検討 (牛群移動方法、牛舎移行時の飼料メニュー、蹄病等の予防対策等) ・新しい換気システムの実測と検討 (換気調整方法を検討) <p>搾乳ロボット稼働 換気状況の確認</p>   | <p>出荷乳量</p> <p>116%(H27年比)を達成</p> <p>→地域の生産を牽引</p> |
| <p>TMRセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TMRセンター飼料設計メンバー(若手構成員)による視察を企画 ・若手によるTMRセンター全体会議での積極的な改善提案を後押し <p>視察で品質を確認</p>  | <p>サイレージ品質向上</p> <p>意欲がさらに高まる</p> |
| <p>TMRセンターほ育・育成センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣ほ育・育成センターへの視察を企画 ・酪農セミナーへの参加を提案 ・ほ乳量増給(6→10L/頭)の変更 ・換気・保温方法の改善 ・ネズミ防除対策を支援 <p>視察で換気を研修</p>  | <p>スターター採食量、治療の予後が改善!</p> <p>離乳後の真菌症発生率が80%減少</p> |

離農があっても地域の生産乳量が維持できる仕組みを実現!
H27年対比で100%

地域内では新規就農の計画もありさらなる生産増が期待される。

地区出荷乳量



4 今後の活動*****

- (1) 各農場で行われた疾病低減対策を体系的に整理し、他地域に普及
- (2) 若手の育成手法を他地域へ波及